

平成 19 年 12 月 20 日

各 位

会社名 ゼネラル株式会社  
代表者名 代表取締役 北田 猛  
(コード 3890 大証第2部)  
問合せ先 経理部長 有野 隆久  
(TEL 06 6933 1805)

## 平成 19 年 10 月期業績予想との差異に関するお知らせ

平成 19 年 6 月 20 日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にてお知らせいたしました平成 19 年 10 月期業績予想と今回業績確定した数値との差異に関して、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 19 年 10 月期 個別通期業績 (平成 18 年 11 月 1 日 ~ 平成 19 年 10 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回修正予想 (A)	1,800	300	350	450
今回確定数値 (B)	1,893	345	611	615
増減額 (B - A)	93	45	261	165
増減率 (%)	5.2%	15.0%	74.6%	36.7%
前期 (平成 18 年 10 月期) 実績	2,131	412	345	224

#### 2. 19 年 10 月期 連結通期業績 (平成 18 年 11 月 1 日 ~ 平成 19 年 10 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回修正予想 (A)	29,000	700	900	500
今回確定数値 (B)	27,828	638	1,130	434
増減額 (B - A)	1,172	62	230	66
増減率 (%)	4.0%	8.9%	25.6%	13.0%
前期 (平成 18 年 10 月期) 実績	31,957	644	723	192

### 3. 差異の理由

#### (個別業績)

当期においては、売上高、営業利益は、ほぼ前回発表数値となりましたが、経常利益で261百万円増、純利益では165百万円の増加となりました。これは、業績予想発表時点と比較して、海外投資信託の解約が予定より早くなったため、受取配当金が増加したことによるものであります。

#### (連結業績)

当期においては、当社子会社ゼネラル興産において売上を見込んでおりましたイタリア・ミラノの分譲マンション「ポーノ・カイロリプロジェクト」は完工いたしました。工事の遅れから売上計上時期が本年末にずれ込んだことならびにOA事業・トナーリサイクル事業の想定以上の材料高等により、売上高、営業利益とも業績予想より減少しました。また、経常利益は、個別業績の増加分を受け予想よりも増加いたしました。一方、当期純利益に関しては、事業の「選択と集中」を加速させていることもあり、関係会社整理損等の特別損失が嵩み、業績予想時より66百万円減少いたしました。

以 上